

Ⅲ 質問と回答

第48回 荒川区政世論調査 ご協力のお願い

日頃より区政にご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、このたび、荒川区では、区の施策・事業等を適切に実施していくための基礎的データとすることを目的に「第48回 荒川区政世論調査」を行うことといたしました。

この調査は、住民基本台帳から無作為に抽出した3,000名の方に調査票を送付して、アンケート形式でご意見を伺うもので、いただいたご意見は区政の様々な分野に反映いたします。

調査の結果はすべて統計的に処理するとともに、皆様のご意見などを区政世論調査以外に使用することや、その内容が外部に流出することは決してありませんのでご安心ください。

この調査に関するお問い合わせ、ご質問などがございましたら、秘書課総合相談係、または委託先の実施担当者までご連絡ください。

お忙しいところ誠に恐縮でございますが、何とぞご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、荒川区政世論調査の結果は2月頃、区役所地下1階の情報提供コーナーや各区立図書館、荒川区ホームページでご覧いただけます。また、概要を区報に掲載する予定です。

令和5年8月

荒川区長 西川 太郎

担当／荒川区秘書課総合相談係

電話／03-3802-3229（直通）

受付時間／月～金、8：30～17：15

※祝日を除く。

委託先／株式会社CCNグループ

電話／03-6262-9714 担当：白石、木下

受付時間／月～金、9：30～17：30

※祝日を除く。

※本調査で、区の職員や調査員が訪問や電話をすることはありません。

（親族や区役所職員・警察官等をかたった特殊詐欺が多発しています。ご注意ください。）

回答にあたってのお願い

- 必ず宛名のご本人が、回答くださるようお願いいたします。ただし、事情により、ご本人による記入が難しい場合は、ご家族の方が代わりに記入していただいても構いません。
- 回答は、《郵送》または《インターネット》により行うことができます。いずれかの方法で、下記の期日までに、投かんもしくはご送信ください。

令和5年9月29日（金）

質問は、4ページから始まります。

郵送での回答方法

- ① 回答には、鉛筆か、黒または青のボールペン・万年筆をお使いください。
- ② 回答は、あらかじめ設けてある選択肢の中から当てはまるものを選び、**番号**に○印を付けてください。なお、「その他（ ）」を選ばれた場合は、（ ）内にその内容を具体的にご記入ください。
- ③ 質問に該当する方のみにお答えいただく問いもありますが、その場合は矢印や説明文に従ってお答えください。
- ④ 回答が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて令和5年9月29日（金）までに投かんしてください。

インターネットでの回答方法 (パソコン、スマートフォンから回答できます)

- ① 回答は、あらかじめ設けてある選択肢の中から当てはまるものを選択してください。なお、「その他」を選ばれた場合は、「その他欄」にその内容を具体的にご記入ください。
- ② ブラウザ、スマートフォンの「戻る」機能は使えません。戻る場合は画面内の「戻る」ボタンを使用してください。
※ セキュリティ確保のため、25分以上画面の切り替えが行われないと、表示されている画面の操作中であっても接続が切れる仕組みになっております。入力を一時中断する場合は、画面右上の「あとで続きをする」から入力内容の一時保存をしてください。(ひとつ前の画面までの回答が保存されます)
- ③ 全ての設問が終わりましたら「回答確認画面」が表示されますので、回答内容に誤りが無いか確認の上、「送信する」ボタンを押してください。「回答完了」画面が表示されましたら、回答は終了です。
- ④ 令和5年9月29日（金）までに回答を送信してください。
- ⑤ 通信サービスの接続料金は利用者様の負担となります。

調査画面へのアクセス方法

パソコン

①荒川区ホームページトップページ右上の「探す」をクリック。

(<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/>)

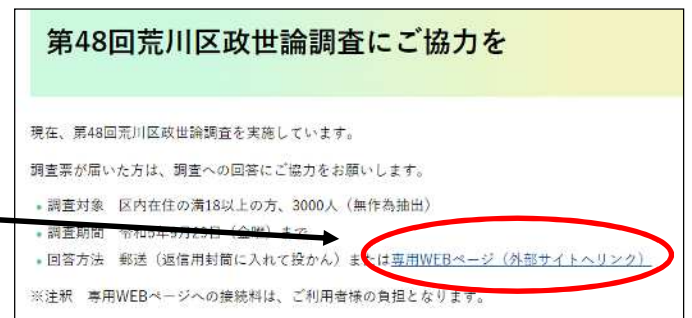
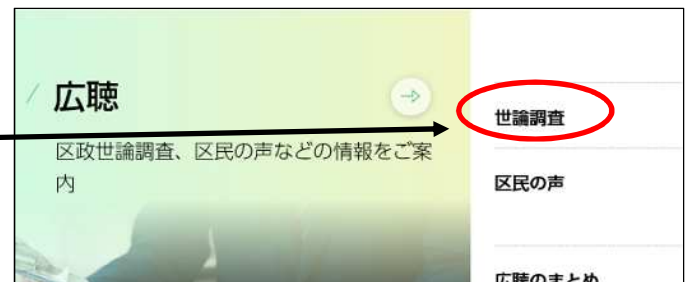
②ページを一番下までスクロールし、「区政情報」のカテゴリのうち、「広報・報道・広聴」をクリック。

③ページを下にスクロールし、「広聴」のカテゴリのうち、「世論調査」をクリック。

④「第48回荒川区政世論調査にご協力を」をクリックし、表示されるページの「専用WEBページ」のリンクをクリック。

⑤ログイン画面が表示されますので、下記のIDとパスワードを入力し、ログインボタンを選択してください。

⑥入力画面が表示されますので、順に回答をしてください。



スマートフォン

・右記のバーコードを読み取り、下記でお知らせしているIDとパスワードを入力し、「ログイン」ボタンを選択してください。

・入力画面が表示されますので、順に回答をしてください。

※読み取ることが出来ない場合は、各端末から荒川区ホームページにアクセスしてください。



(すべて、半角英数)

I D

パスワード

※パスワードは、記号1文字と数字9文字（計10文字）です。

※このIDとパスワードは、インターネットにより世論調査の回答を行うためのもので、個人を特定するものではありません。

居住と生活環境

問1 荒川区にお住まいになって何年になりますか。(○は1つだけ)

1	5年未満	15.3%	2	5～9年	9.2%	3	10～19年	19.2%	4	20年以上	56.0%
										無回答	0.3%

問2 これからも荒川区にお住まいになりますか。(○は1つだけ)

1		2		3		4		5		
住み続ける つもり		当分の間は 住むつもり		できれば転居 したい		転居する つもり		わからない		
61.7%		28.8%		2.4%		2.0%		4.4%		
								無回答		0.6%

問2で「1」、「2」とお答えの方に伺います

問2-1 その主な理由は何ですか。次の中からお選びください。(○はいくつでも)

1	住み慣れているから	64.0%
2	自分の家(土地)だから	58.1%
3	家の広さなどの居住環境が良いから	18.5%
4	家賃(地代)が安いから	8.6%
5	通勤・通学に便利だから	38.5%
6	買い物など毎日の生活の便が良いから	46.5%
7	仕事や商売の関係で好都合だから	9.0%
8	保育園、幼稚園、ひろば館・ふれあい館など子育て環境が充実しているから	7.6%
9	子どもの教育のため	3.2%
10	地域での人間関係が良いから	14.3%
11	自然や街並みなどの生活環境が良いから	11.5%
12	文化や教育などの公共施設が整備されているから	9.0%
13	まちの雰囲気が好きだから	18.5%
14	その他()	3.3%
	無回答	0.6%

問2で「3」、「4」とお答えの方に伺います

問2-2 その主な理由は何ですか。次の中からお選びください。(○はいくつでも)

1	自分の家(土地)ではないから	26.3%
2	家の広さなどの居住環境が悪いから	19.3%
3	家賃(地代)が高いから	21.1%
4	相続税、固定資産税の負担が重いから	8.8%
5	通勤・通学に不便だから	15.8%
6	買い物など毎日の生活の便が悪いから	12.3%
7	仕事や商売の関係で不都合だから	10.5%
8	保育園、幼稚園、ひろば館・ふれあい館など子育て環境が充実していないから	1.8%
9	子どもの教育のため	7.0%
10	地域での人間関係が悪いから	3.5%
11	自然や街並みなどの生活環境が悪いから	24.6%
12	文化や教育などの公共施設が整備されていないから	8.8%
13	まちの雰囲気が嫌いだから	15.8%
14	その他()	31.6%
	無回答	0.0%

ここからはすべての方に伺います

問3 現在の荒川区を住みよいと思いますか。(〇は1つだけ)

1 非常に住みよい	2 まあまあ住みよい	3 やや住みにくい	4 住みにくい	
23.8%	69.5%	4.7%	0.9%	
			無回答	1.2%

問4 今後、荒川区のまちづくりを進めていく上で重要な課題と思われるものを、次の中からお選びください。(〇は3つまで)

1 住宅・住環境の整備	26.0%	8 歴史・文化を大切にしたい街並みの保全や景観の整備	11.0%
2 道路の整備	24.0%	9 自然や環境に配慮したまちづくり	23.5%
3 交通網の整備	12.7%	10 歩道の段差解消など高齢者・障がい者に配慮したまちづくり	36.6%
4 駅前などの開発整備	33.5%	11 その他()	8.1%
5 公園・緑地の整備	19.4%	12 わからない	3.3%
6 建物の不燃化などの防災まちづくり	32.9%	無回答	0.9%
7 水辺環境などをつくる隅田川沿岸の整備	12.9%		

地域とのつながり・暮らし

問5 あなたは、地域の行事や活動に参加していますか。(〇は1つだけ)

1 いつも参加している	4.8%	4 まったく参加しない	19.4%
2 時々参加している	28.3%	5 行事を知らない	12.0%
3 ほとんど参加していない	35.0%	無回答	0.5%

問6 あなたは、町会・自治会をはじめとする地域コミュニティにどのようなことを期待しますか。(〇はいくつでも)

1 気軽にあいさつできる関係性	39.5%	5 高齢者の見守り	36.4%
2 災害時の共助	60.3%	6 子どもの成長の助け合い	30.8%
3 地域ぐるみでの防犯対策	45.3%	7 その他()	1.6%
4 清掃活動などを通じた環境美化	24.8%	8 特になし	10.8%
		無回答	0.9%

問7 あなたは、町会・自治会をはじめとする地域コミュニティへの参加を促進するために必要だと思うことはなんですか。(〇はいくつでも)

1 活動内容を分かりやすく周知する	42.9%	4 気軽に参加できるきっかけや場を作る	50.3%
2 参加することにより生まれるメリット(例：近隣の顔の見える関係、仲間づくりのきっかけ)を分かりやすく周知する	33.3%	5 参加方法を分かりやすく周知する	35.0%
3 活動時間を参加しやすい時間帯にするなど、参加しやすい環境を作る	33.9%	6 その他()	3.7%
		7 特になし	11.7%
		無回答	1.1%

防災対策

過去の災害時の避難所では、「支援物資が行き渡らない」「トイレが使えない」等の問題が発生しました。そのため、家が無事で周囲に火災の危険がない場合は、自宅にとどまる在宅避難が有効です。

在宅避難は、避難所での生活に比べてプライバシーの確保がしやすく、感染症等の恐れも少ない避難方法です。在宅避難に備え、今一度、自宅内の災害対策を確認しましょう。

問8 災害時に備えた食料や飲料水の備蓄について、どのような取組をしていますか。
(「1」、「2」、「3」は、〇はいくつでも)

1 備蓄用として販売されている長期間保存用食料等（アルファ化米、乾パン、飲料水等）を備蓄している	37.0%
2 普段使っている食料等（パックご飯、レトルト食品、缶詰、カップ麺、お菓子類、ペットボトル飲料（水・お茶等））を多めに購入しておくようにしている（日常備蓄）	60.5%
3 自宅ではなく、マンションの管理組合等の倉庫で備蓄している	5.8%
4 備蓄はしていない → 問8-2 へ	19.8%
無回答	2.4%

問8で「1」、「2」、「3」とお答えの方に伺います

問8-1 何日分の備蓄をしていますか。(〇は1つだけ) ※備蓄用として販売されている食料等だけでなく、普段使っている食料等（パックご飯、レトルト食品、缶詰、カップ麺、お菓子類、ペットボトル飲料（水・お茶等））を多めに購入している分（日常備蓄）も含めてご回答ください。

1 7日分の備蓄をしている	11.9%	2 3日以上、7日未満の備蓄をしている	47.2%	3 3日未満の備蓄をしている	40.0%
					無回答 1.0%

問8で「4 備蓄はしていない」とお答えの方に伺います

問8-2 食料や飲料水の備蓄を行っていない理由について、次の中から当てはまるものをお選びください。(〇はいくつでも)

1 何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから	43.1%	4 地震や水害が起きる可能性は低いから	6.3%
2 災害時には行政やボランティア等が飲料等を提供してくれるから	4.7%	5 お金がかかるから	23.9%
3 備蓄物資の入替や管理が面倒だから	37.6%	6 備蓄物資を置くスペースがないから	49.0%
		7 その他（ ）	6.7%
		無回答	2.0%

荒川区では、区民の皆様には7日間以上の食料や飲料水等の備蓄【※】を推奨しています。また、普段使っている食料等を多めに購入し、日常的に消費しながら、家の中に常に一定の食料や飲料水等を確保しておく「日常備蓄（ローリングストック法）」を推奨しています。日常備蓄の詳細は、以下の区ホームページで紹介しております。

【※】備蓄量の目安（大人1人、1日あたり）飲料水3ℓ、食料3食分、トイレ5回分
備蓄品は特別な保存食である必要はなく、日常使う食品で、保存できるもので構いません。（パックご飯、レトルト食品、缶詰、カップ麺、お菓子類、ペットボトル飲料）

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a013/bousai/sonae/nitijoubitiku.html>



ここからはすべての方に伺います

問9 あなたの家では、地震に備え、家具類の転倒・落下・移動防止対策器具の設置を行っていますか。(〇は1つだけ)

1 大部分の家具類に対策を行っている	12.4%	4 クローゼット等に収納しており、倒れるような家具類は置いていない	10.1%
2 一部の家具類だけに対策を行っている	30.1%	5 行っていない → 問9-1 へ	21.4%
3 家具類が転倒・落下等しても身に危険が及ばないように、家具類の配置を工夫している	22.1%	無回答	3.8%

問9で「5 行っていない」とお答えの方に伺います

問 9-1 区で家具類の転倒・落下・移動防止対策器具の設置に5千円～2万円（条件有）の助成金が出る制度がありますが、設置を行っていない理由を教えてください。（〇はいくつでも）

1 固定する方法がわからない、または固定するのが難しいから	22.1%	4 地震が起きても転倒・落下等しない、または転倒・落下等しても危険ではないと思うから	13.4%
2 賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、壁に傷をつけることができないから	30.8%	5 固定しても効果がないと思うから	8.7%
3 持ち家に住んでおり、家具や壁に傷をつけたくないから	7.2%	6 お金をかけたくないから	13.0%
		7 助成制度を知らなかったから	47.8%
		8 その他（ ）	6.5%
		無回答	1.4%

ここからはすべての方に伺います

問 10 過去の大規模地震時に発生した火災の原因の約6割が、地震による停電から電気が復旧した時に発生する通電火災によるものでした。通電火災を防ぐためには、強い揺れを感知した時に電気を自動的に止める「感震ブレーカー」という装置を設置することが有効です。「感震ブレーカー」の設置状況についてお答えください。（〇は1つだけ）

1 全額自己負担で感震ブレーカーを設置した	5.1%	4 感震ブレーカーを知っているが設置していない	→ 問 10-1 へ	20.0%
2 助成金を活用して感震ブレーカーを設置した	4.4%	5 本設問まで感震ブレーカーを知らなかった	→ 問 10-2 へ	54.8%
3 居住する前から感震ブレーカーが設置されていた	12.3%	無回答		3.6%

問 10 で「4 感震ブレーカーを知っているが設置していない」とお答えの方に伺います

問 10-1 荒川区では感震ブレーカー等の設置について、5千円～10万円（条件有）の助成金が出る制度がありますが、「感震ブレーカー」を設置していない理由を次の中からお選びください。（〇はいくつでも）

1 設置する方法がわからない、または設置するのが難しいから	26.1%	5 設置しても効果がないと思うから	3.9%
2 賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、設置できないから	21.4%	6 避難時等にブレーカーを切る等、感震ブレーカー設置以外の通電火災対策をしているから	12.1%
3 分電盤が古く、感震ブレーカーを取り付けることができないから	3.5%	7 お金をかけたくないから	9.7%
4 電気が突然止まると困るから	4.7%	8 助成制度を知らなかったから	38.1%
		9 その他（ ）	6.2%
		無回答	1.9%

――問 11 にお進みください――

問 10 で「5 本設問まで感震ブレーカーを知らなかった」とお答えの方に伺います

問 10-2 感震ブレーカーにはいくつかの種類があります。電気工事が必要な分電盤タイプ（標準的なもので5～8万円ほど）やコンセントタイプ（標準的なもので5千円～2万円ほど）、電気工事が不要で簡単に取り付けられるタイプなど、仕組みや価格は多様です。

荒川区では感震ブレーカー等の設置について、5千円～10万円（条件有）の助成金が出る制度がありますが、上記を踏まえ、設置を検討したいと思いますか。（○は1つだけ）

1 設置を検討したい	61.6%	2 設置を検討しない	25.1%	3 その他（ ）	11.9%
				無回答	1.4%

荒川区では、家具の転倒・落下防止器具や感震ブレーカーの購入・設置費用の助成を行っています。また、高齢者のみの世帯や障がい者のいる世帯等には、簡易型感震ブレーカー及び自動点灯ライトの無料配付事業も行っています。事業の詳細は、区ホームページで確認できます。

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/bousai/sonae/index.html>



ここからはすべての方に伺います

問 11 ご自宅にある消火器具をお選びください。（「1」、「2」、「3」は、○はいくつでも）

1 消火器（ピンを抜いてレバーを握ることにより噴射するもの）	51.2%
2 エアゾール式消火具（殺虫剤のようなスプレー式のもの）	9.2%
3 消火用バケツ	17.4%
4 上記のものは置いていない	29.7%
	無回答 2.5%

→ 問 12 へ

問 11 で「4 上記のものは置いていない」とお答えの方に伺います

問 11-1 消火器具を置いていない理由について、最もあてはまるものをお選びください。（○は1つだけ）

1 自宅に置く必要性を感じないから	18.8%
2 お金をかけたくないから	7.1%
3 置く場所がないから	23.3%
4 消火器具の販売先やどの商品を購入すればよいかわからないから	30.6%
5 その他（ ）	16.8%
	無回答 3.4%

防犯対策

ここからはすべての方に伺います

自転車盗難件数は、区内で発生した犯罪全体の約3割を占め、令和4年から増加傾向にあります。

自転車盗は犯罪の入り口（ゲートウェイ犯罪）とも言われ、盗まれた自転車がひったくりなどの他の犯罪に利用されることもあります。自転車盗を防ぐことは、より悪質な犯罪が起こりやすくなることを防ぐことにもつながります。

問 12 あなたは過去5年以内に、自転車の盗難被害に遭ったことがありますか。（○は1つだけ）

1 ある	6.2%	2 ない	68.2%	3 自転車を利用していない	24.2%
				→ 問 13 へ	
				無回答	1.3%

問 12 で「1」、「2」とお答えの方に伺います

問 12-1 あなたは普段自転車に鍵をかけていますか。（○は1つだけ）

1 いつもかけている	82.3%	2 かけていたり、かけていなかったりしている	12.8%	3 常にかけていない	2.1%
				→ 問 12-4 へ	
				→ 問 12-3、問 12-4 へ	2.8%
				無回答	

問 12-1 で「1 いつもかけている」とお答えの方に伺います

問 12-2 自転車の盗難対策のために、通常の鍵以外に特に実施していることはありますか。（○はいくつでも）

1 二重ロック	9.4%	4 決められた場所（駐輪場など）に停めている	56.5%		
2 盗難防止のアラーム	0.0%	5 その他（ ）	1.9%		
3 追跡装置（GPSなど）	0.4%	6 特になし	34.9%		
				無回答	0.6%

--- 問 13 にお進みください ---

問 12-1 で「2 かけていたり、かけていなかったりしている」とお答えの方に伺います

問 12-3 鍵をかけないのはどんな場面ですか。（○はいくつでも）

1 自宅敷地内	70.7%	5 駅前などの駐輪場	3.3%
2 集合住宅の駐輪場	18.7%	6 路上	7.3%
3 ショッピングセンターや行楽施設の駐輪場	11.4%	7 その他（ ）	3.3%
4 コンビニエンスストアやスーパーの駐輪場	27.6%	無回答	1.6%

問 12-1 で「2 かけていたり、かけていなかったりしている」、「3 常にかけていない」とお答えの方に伺います

問 12-4 なぜ鍵をかけないのですか。（○はいくつでも）

1 自宅や会社などの敷地内に停めているから	53.8%	4 面倒だから	19.6%
2 短時間だから	31.5%	5 その他（ ）	7.0%
3 盗難に遭う心配をしていないから	21.0%	無回答	6.3%

自転車盗難の半分以上は、鍵のかけ忘れ（無施錠）により被害に遭っています。わずかな時間でも、自転車から離れる際は必ず鍵をかけましょう（鍵は1つだけでなく、二重ロックを推奨しています）。自宅敷地内でも盗難は発生しています。自宅に置く場合も、柱などに固定すると安心です。

ここからはすべての方に伺います

問 13 あなたは健康診断を1年以内に受けましたか。(〇は1つだけ)

1 職場の健康診断を受けた	38.9%	5 学校の健康診断を受けた	2.0%
2 加入している健康保険組合などで実施している健康診断を受けた	7.8%	6 その他()	2.3%
3 区の特典健康診査を受けた	26.7%	7 受けていない	14.6%
4 個人の費用で人間ドック等の健康診断を受けた	4.1%	無回答	3.5%

問 14 あなたは、以下のがん検診を受けていますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

①胃がん	1 区のがん検診で受けている 19.0%	2 勤務先で、または自主的に受けている 25.5%	3 該当年ではない(該当年齢に達していない等) 5.1%	4 受けていない 45.3%	無回答 5.1%
②肺がん	1 区のがん検診で受けている 19.3%	2 勤務先で、または自主的に受けている 21.5%	3 該当年ではない(該当年齢に達していない等) 6.6%	4 受けていない 47.3%	無回答 5.2%
③大腸がん	1 区のがん検診で受けている 20.3%	2 勤務先で、または自主的に受けている 23.5%	3 該当年ではない(該当年齢に達していない等) 6.3%	4 受けていない 45.0%	無回答 4.9%
④(女性のみ)乳がん	1 区のがん検診で受けている 23.0%	2 勤務先で、または自主的に受けている 30.8%	3 該当年ではない(該当年齢に達していない等) 5.8%	4 受けていない 36.2%	無回答 4.3%
⑤(女性のみ)子宮頸がん	1 区のがん検診で受けている 26.8%	2 勤務先で、または自主的に受けている 28.1%	3 該当年ではない(該当年齢に達していない等) 2.3%	4 受けていない 39.0%	無回答 3.8%

問 13で「7 受けていない」、または、問 14で1つでも「4 受けていない」とお答えの方に伺います

問 15 健康診断やがん検診を受けなかった、または、受けないとする場合の理由は何ですか。(〇はいくつでも)



1 健康診断やがん検診の実施を知らなかった	3.6%	6 医療機関で受診中のため	11.7%
2 忙しく日程の都合がつかなかった	23.4%	7 結果が不安	5.0%
3 身近なところで実施していない	5.9%	8 感染症予防のため	2.1%
4 健康に特に問題がないので必要を感じない	20.8%	9 その他()	11.7%
5 予約方法が面倒だった	9.0%	10 特に理由はない	17.9%
		無回答	8.2%

ここからはすべての方に伺います

問 16 主食（ごはん、パン、麺など）・主菜（肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理）・副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理）を3つそろえて食べることが一日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。（○は1つだけ）

1	ほぼ毎日	43.1%	2	週に4～5日	20.9%	3	週に2～3日	23.6%	4	ほとんどない	11.5%
										無回答	0.9%

問 17 日々の食生活で次のことを意識していますか。（○はそれぞれ1つだけ）

<p>① あなたは、野菜を1日何皿分食べていますか。 ※1皿＝野菜70g程度</p> <p>野菜サラダ 1皿分</p>  <p>約10センチ</p> <p>おひたし 1皿分</p>  <p>約10センチ</p>	<p>1 5皿分以上 1.3%</p> <p>2 3～4皿分 15.1%</p> <p>3 1～2皿分 70.7%</p> <p>4 ほとんど食べない 11.9%</p> <p>無回答 1.0%</p>
<p>② あなたは、果物を1日どのくらい食べていますか。 ※りんご1個＝200g程度、みかん1個＝100g程度、 キウイフルーツ1個＝100g程度</p>	<p>1 約200g 9.9%</p> <p>2 約100g 29.8%</p> <p>3 約50g 23.2%</p> <p>4 ほとんど食べない 36.2%</p> <p>無回答 0.9%</p>
<p>③ 日々の食生活で食塩を控えることを意識していますか。</p>	<p>1 はい 57.4%</p> <p>2 いいえ 35.6%</p> <p>無回答 7.0%</p>

高血圧を含む生活習慣病の予防のため、国の方針では「野菜は1日350g以上」、「1日の食塩摂取量は男性7.5g未満、女性6.5g未満」が目標とされていますが、令和元年国民健康・栄養調査によると、野菜の平均摂取量は280.5g、食塩の平均摂取量は男性10.9g、女性9.3gという状況です。

日々の食生活の中で、野菜や果物を積極的に食べる、麺類の汁は残す、調味料は「かける」より「つける」、減塩食品を利用する、栄養成分表示を確認するなど、できることから取り組みましょう。荒川区では食事についての相談をお受けしています。ぜひご利用ください。

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a033/kenkouiryou/kenkouzukuri/eiyousoudan.html>



問 18 過去1ヶ月間、あなたの1日の平均睡眠時間はどのくらいでしたか。（○は1つだけ）

1	5時間未満	9.6%	4	7時間以上8時間未満	19.8%
2	5時間以上6時間未満	30.1%	5	8時間以上9時間未満	4.4%
3	6時間以上7時間未満	34.2%	6	9時間以上	1.3%
				無回答	0.7%

令和5年度改正の健康日本21（第3次）では、20～59歳は6～9時間、60歳以上は6～8時間が十分な睡眠時間の目安とされています。しかし、年齢や体質、季節、生活内容などで大きく異なるため、自然に眠れて、日中眠くて困ることがない程度の時間を目安にしましょう。

問 19 日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。(〇は1つだけ)

- 1 はい 70.1% 2 いいえ 28.0% 3 医師等から運動を禁止されている 0.3%
 無回答 1.6%

【歩行と同等の身体活動の例】



普通歩行
(3メッツ)



掃除機がけ
(3.5メッツ)



台所の手伝い
(3メッツ)



家財道具の片づけ
(3メッツ)



子どもの世話(立位)
(3メッツ)

メッツとは、「安静時と比較して何倍のエネルギーを消費するか(1時間あたり)」を示す「身体活動量」のことです。

1時間あたりの運動量は、安静時が1メッツ、普通歩行が3メッツで、3メッツ以上の「身体活動」を1週間の合計で23メッツ行うと良いとされています。

(厚生労働省『健康づくりのための身体活動基準 2013』より)

生活習慣病の発症や死亡のリスクを下げるためには運動習慣の獲得が重要です。令和5年度改正の健康日本21(第3次)では、20~64歳は8,000歩、65歳以上は6,000歩が1日あたりの歩数の平均値の目標とされています(10分の歩行は、1,000歩程度に相当)。荒川区では、「あらかわウォーキングマップ」の作成やウォーキング事業を通じて楽しく歩ける環境づくりに取り組んでいます。

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a033/kenkouiryou/kenkouzukuri/walkingmap.html>



脱炭素社会に向けて

ここからはすべての方に伺います

荒川区では、地球温暖化防止と「脱炭素社会」の実現を図るため、令和5年3月に「地球温暖化対策推進条例」を制定するとともに、「地球温暖化対策実行計画」の改定や、温暖化対策のアクションプランの策定を行いました。今後は、ライフスタイルの転換など各家庭での取組が重要となってまいります。

問 20 温暖化防止と「脱炭素社会」の実現に向けた各家庭での取組について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。(〇は1つだけ)

1 積極的に取り組みたい	15.4%	4 あまり取り組みたいとは思わない	4.6%
2 日常生活が不便にならない範囲で取り組みたい	62.8%	5 取り組みたくない	1.7%
3 何かメリットがあれば取り組みたい	12.6%	無回答	3.0%

問 20-1 へ

問 21 へ

荒川区では、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量を「実質ゼロ」にする「脱炭素社会」の実現に向けた取組を進めています。

地球温暖化対策に関する区民、事業者及び区の責務を明らかにし、基本的な事項等を定めた「荒川区地球温暖化対策推進条例」を制定しました。

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a024/jyourei/ondanka-jyourei.html>



また、「荒川区地球温暖化対策実行計画」を改定し、日常生活で取り組める温暖化対策の「アクションプラン」を新たに設定するなど内容の充実を図っています。

https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a024/kankyoushoene_ondantaisaku/r2ontaikeikaku.html



問 20 で「1」、「2」、「3」とお答えの方に伺います

問 20-1 「脱炭素社会」の実現に向けた各家庭での取組について、あなたが取り組んでいること、または今後取組を検討していることをお選びください。(〇はいくつでも)

1	省エネ型の電化製品等の購入	43.5%	9	びん、缶、古紙、ペットボトル、トレイなどの分別・資源化への協力	86.0%
2	太陽光発電システムや太陽熱温水器の設置	3.5%	10	食べきり、食材の使い切りなど、食べ物のごみの減量	57.3%
3	高断熱窓への改修など省エネリフォームの実施	6.8%	11	賞味・消費期限の近い食品を購入する「てまえどり」の実施(スマートフォン等によるアプリの活用なども含む)	23.8%
4	電化製品のスイッチをこまめに切る、エアコンの設定温度を控えるなどの省エネ対策	62.8%	12	水切り、堆肥化等による生ごみの減量	13.8%
5	風呂の残り湯を水まき、洗濯などに再利用	22.9%	13	フリーマーケットやリユースショップの利用	9.6%
6	生垣、緑のカーテンなどの設置	5.1%	14	環境問題の講座への参加など環境について学習	1.6%
7	ごみが出ない商品の購入、買い物袋(マイバッグ)の持参	57.7%	15	その他()	0.7%
8	プラスチック製以外の代替素材の製品の購入	8.7%		無回答	0.6%

ここからはすべての方に伺います

問 21 「脱炭素社会」の実現に向けて、あなたを含めた区民の皆様に対し、区はどのような支援を行うことが必要だと考えますか。あなたの考えに最も近いものをお選びください。(〇は1つだけ)

1	省エネ・創エネ設備(太陽光発電システム等)を普及させるための助成金の充実	16.1%	6	他の地域と連携した森林環境の整備	3.0%
2	再生可能エネルギーなど環境にやさしい電力に関する情報提供	7.2%	7	ごみの減量やリサイクルの推進	16.7%
3	家庭やオフィスでできる省エネ対策についての情報提供	11.9%	8	プラスチックの分別回収、使用抑制に関連する情報提供等	4.7%
4	自動車の利用を減らすための環境の整備	6.1%	9	食品ロスの削減に寄与する取組や情報提供	9.1%
5	環境学習や自然体験の場の提供	3.5%	10	その他()	1.9%
				無回答	19.8%

区では、区内の住宅等への太陽光発電システムの設置や、高断熱窓への改修に係る費用の一部を助成するエコ助成事業を実施しています。

https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a024/kankyoushoene_ondantaisaku/4eco_jyosei.html



人権意識

問 22 あなたは、今の社会は人権が守られていると思いますか。(○は1つだけ)

1 十分守られている 12.1%	2 十分ではないが 守られている 64.6%	3 あまり守られて いない 17.0%	4 全然守られて いない 2.1% 無回答 4.1%
---------------------	------------------------------	------------------------	----------------------------------

問 23 あなたが、関心があり、解消に向けて取り組むべきと考える人権問題は何ですか。
(○はいくつでも)

1 女性に対する差別・暴力 38.5%	11 インターネット上での誹謗中傷・個人情報の 暴露 63.1%
2 子どもに対するいじめ・虐待 63.7%	12 北朝鮮による拉致問題 25.3%
3 高齢者に対する差別・虐待 37.7%	13 ホームレスに対する偏見・差別 11.0%
4 障がい者に対する偏見・差別・虐待 43.4%	14 性的指向※1・性自認※2を理由とする偏見・ 差別 20.4%
5 自分や家族の出身地に対する偏見・差別(部落 差別) 9.0%	15 性的搾取・強制労働等を目的とした人身取引 17.0%
6 アイヌの人々に対する偏見・差別 9.6%	16 震災等の災害に起因する偏見・差別 15.4%
7 外国人に対する偏見・差別 20.7%	17 様々なハラスメント※3 33.3%
8 感染症(HIV・新型コロナウイルス感染症等) に関連する偏見・差別 16.8%	18 その他() 2.3%
9 刑を終えて出所した人やその家族に対する偏 見・差別 10.7%	19 特になし 3.9%
10 犯罪被害者やその家族に対する偏見・差別 16.1%	無回答 2.5%

- ※1 「性的指向」とは、どのような性別の人を好きになるのかをいい、異性愛のほか、同性愛や両性愛を含みます。
- ※2 「性自認」とは、自分の性をどのように認識しているか(心の性)をいい、生物学的な性と心の性が一致しない方もいます。
- ※3 「ハラスメント」とは、「嫌がらせ、いじめ」の意で、セクハラ(セクシュアルハラスメント)やパワーハラ(パワーハラスメント)等があります。

問 24 これまでに自分が人権を侵害された経験や、身の周りで他の人が人権侵害を受けていることを見聞きした経験はありますか。(○は1つだけ)

1 人権を侵害された 経験がある 9.6%	2 身の周りで人権侵 害を見聞きした経 験がある 21.1%	3 どちらも経験があ る 7.0%	4 どちらも経験がな い 57.7% →問 25 へ
→問 24-1、24-2 へ	→問 24-1 へ	→問 24-1、24-2 へ	無回答 4.6%

問 24 で「1」、「2」、「3」とお答えの方に伺います

問 24-1 以下のうち、どのような人権侵害でしたか（問 24 で「3」を選んだ方は、あなたが経験した人権侵害についてお答えください）（〇はいくつでも）

1	性別を理由とした偏見・差別	22.6%	7	感染症（H I V・新型コロナウイルス感染症等）を理由とした偏見・差別	2.9%
2	子どもに対する虐待・いじめ	25.7%	8	インターネット上の悪意のある書き込み	20.2%
3	高齢を理由とした偏見・差別	13.2%	9	性的指向・性自認に対する偏見・差別	9.1%
4	障がいを理由とした偏見・差別	23.5%	10	職場等でのハラスメント	45.7%
5	自分や家族の出身地に対する偏見・差別（部落差別）	6.4%	11	その他（ ）	4.9%
6	外国人であることを理由とした偏見・差別	19.1%		無回答	1.2%

問 24 で「1」、「3」とお答えの方に伺います

問 24-2 人権を侵害されることがあったとき、あなたはどのように対応しましたか。（〇はいくつでも）

1	家族や友人に相談した	34.1%	5	SNS※4利用者に相談した	2.3%
2	学校に相談した	8.4%	6	相手に直接抗議した	19.6%
3	専門の相談窓口で相談した	9.8%	7	その他（ ）	4.7%
4	会社に相談した	13.1%	8	相談しなかった・できなかった	37.4%
				→ 問 24-3 へ	
				無回答	3.7%

※4 「SNS」は、ソーシャルネットワーキングサービスの略で、登録された利用者同士が交流できるウェブサイトの会員制サービス（LINE、X（旧：Twitter）、Facebook など）のことです。

問 24-2 で「8 相談しなかった・できなかった」とお答えの方に伺います

問 24-3 相談しなかった・できなかった理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1	相談先がわからなかったから	18.8%	4	対面では相談しづらかったから	6.3%
2	相談しても仕方ない（解決されない）と思ったから	73.8%	5	電話では相談しづらかったから	5.0%
3	他人に話したくない（思い出したくない）と思ったから	25.0%	6	相手から報復されるのが怖かったから	21.3%
			7	相談するほどのことではないと思ったから	11.3%
			8	その他（ ）	6.3%
				無回答	0.0%

ここからはすべての方に伺います

問 25 すべての人の人権が尊重され、多様性を認め合う社会を実現するためには、どのような事業や取組が必要だと考えますか。（〇はいくつでも）

1	子どもを対象とした啓発イベント・教室	38.2%	5	関係法令の整備	33.0%
2	大人を対象とした人権啓発の講演会・セミナー	29.7%	6	地域における交流の推進	18.6%
3	相談窓口の案内・周知	42.2%	7	会社や企業における啓発の取組	24.9%
4	さまざまな支援制度の案内・周知	43.6%	8	その他（ ）	3.3%
				無回答	5.4%

問 26 すべての人の人権が尊重され、多様性を認め合う社会を実現するために、あなた自身ができることはどんなことですか。(〇はいくつでも)

1	自分の心の中に偏見や差別意識がないか今一度確認し、相手の立場に立った言動を心がける	72.3%	5	人権を守るために活動している団体に対し、寄付をする	4.4%
2	ニュースや新聞を見て、人権に関する知識や理解を深める	55.0%	6	人権に関連したボランティア活動に参加する	5.2%
3	子どもや家族と、人権について話す機会をもつ	24.1%	7	身の周りで人権侵害を受けた人がいたら、自分から声をかけて話を聞く	12.5%
4	人権に関する講演会やイベント等に参加する	7.8%	8	身の周りで人権侵害があったら、区役所などの専門の窓口に通報や相談をする	23.8%
			9	その他 ()	2.1%
				無回答	4.1%

区政への関心と要望

問 27 あなたは、区政にどの程度関心がありますか。(○は1つだけ)

1 関心がある 16.4%	2 やや関心がある 42.9%	3 あまり関心がない 29.3%	4 関心がない 4.7%	5 わからない 無回答 4.4%	2.3%
---------------------	-----------------------	------------------------	--------------------	------------------------	------

問 28 区に意見・要望や相談することがある場合、どのような手段を利用したいですか。
(○はいくつでも)

1 区の担当窓口などに来庁する	31.9%	5 パソコンやスマートフォンを活用したテレビ電話を利用する	8.4%
2 区の担当窓口などに電話する	44.0%	6 議員を通じて伝える	10.6%
3 「区民の声」など手紙を送る	7.2%	7 町会・自治会を通じて伝える	9.1%
4 電子メール、LINE等のチャットアプリを利用する	37.4%	8 その他 ()	2.6%
		無回答	3.1%

問 29 荒川区が行っている次の事業のうち、「今後、特に力を入れてほしいと思うもの」を、次の中からお選びください。(○は5つまで)

1 地震・水害などの防災対策	59.9%	16 バリアフリー化の推進	13.8%
2 地域防犯の取組	36.4%	17 健康づくりなどの保健衛生施策の充実	11.0%
3 子どもの安全対策	31.1%	18 感染症対策の充実	9.3%
4 文化芸術の振興	6.9%	19 幼児・児童の子育て支援の充実	19.7%
5 生涯学習・社会教育の振興	9.2%	20 青少年健全育成の推進	4.8%
6 スポーツの振興	5.4%	21 魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	15.1%
7 産業の振興	6.8%	22 道路・交通網の整備	18.9%
8 消費生活に関する相談などの消費者対策	6.1%	23 放置自転車対策	6.6%
9 就労支援の充実	8.8%	24 公園の整備充実・緑化の推進	16.3%
10 観光振興などによる地域のイメージアップ	5.4%	25 良好な住宅の確保などの住宅対策	8.5%
11 リサイクルなどの環境配慮活動の推進	9.7%	26 学校教育の充実	15.1%
12 騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	19.7%	27 区報や区民の声などの広報・広聴活動	4.5%
13 低所得者に対する福祉の充実	15.1%	28 その他 ()	4.0%
14 高齢者福祉の充実	25.7%	29 特になし	2.6%
15 心身障がい者(児)福祉の充実	9.5%	無回答	1.9%

あなたご自身について

最後に、お答えいただいた「あなた」ご自身のことについておたずねします。これまでお答えいただいたことを統計的に分析するために必要なものですので、是非ご記入ください。

F 1 年代

1	18・19 歳	1.1%	6	40～44 歳	6.4%	11	65～69 歳	6.9%
2	20～24 歳	3.0%	7	45～49 歳	9.5%	12	70～74 歳	9.8%
3	25～29 歳	5.2%	8	50～54 歳	9.6%	13	75～79 歳	7.3%
4	30～34 歳	5.1%	9	55～59 歳	8.9%	14	80 歳以上	10.9%
5	35～39 歳	7.3%	10	60～64 歳	7.9%		無回答	1.1%

F 2 現在お住まいの地域

1	南千住（ ）丁目	19.0%	5	西尾久（ ）丁目	12.8%
2	荒川（ ）丁目	17.8%	6	東日暮里（ ）丁目	12.0%
3	町屋（ ）丁目	12.7%	7	西日暮里（ ）丁目	10.6%
4	東尾久（ ）丁目	13.1%		無回答	1.9%

F 3 ご職業

1	自営業主・事業主	9.5%	5	学生	2.3%
2	会社員・公務員	39.3%	6	無職（年金生活を含む）	21.4%
3	パート・アルバイト・非常勤	15.0%	7	その他（ ）	2.9%
4	家事専業	7.9%		無回答	1.8%

F 4 同居世帯の人数（あなた自身を含みます）

1	1 人	21.9%	3	3 人	23.9%	5	5 人	5.1%
2	2 人	31.6%	4	4 人	15.1%	6	6 人以上	1.6%
							無回答	0.7%

F 5 同居世帯の構成

1	一人暮らし	21.0%	4	三世帯家族（親と子どもと孫）	4.0%
2	夫婦のみ（事実婚、パートナーを含む）	23.2%	5	その他	4.7%
3	二世帯家族（親と子ども）	44.0%		無回答	3.1%

F 6 同居しているお子様について

1	同居している子どもはいない、独身、夫婦のみ（事実婚、パートナーを含む）など	42.8%	3	一番上の子どもが小・中学生	9.1%
2	一番上の子どもが小学校入学前	5.9%	4	一番上の子どもが高校生・大学生	8.5%
			5	一番上の子どもが学校卒業	13.0%
				無回答	20.7%

F 7 お住まいの形態

1 持ち家（一戸建て）	36.4%	4 借家（集合住宅）	25.1%
2 持ち家（集合住宅）	32.2%	5 寮・社宅	1.3%
3 借家（一戸建て）	2.4%	6 その他（ 無回答	1.6% 1.0%

F 8 外国人住民の皆様の意向や生活意識などを把握させていただくため、外国籍の方は下にある

の中に○印を記入してください。

4.0%

F 9 性別

1 男	35.0%	2 女	43.2%	3 その他（どちらでもない、分からない）	0.6%
				無回答	21.1%

区政についてのご意見・ご要望がありましたら、ご記入ください。

---以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。---

